

埼玉県小学生バレーボール連盟大会運営ガイドライン

【審判方法について】改訂版

- 記録員・点示・選手・ベンチスタッフはマスクを着用する。ただし、試合中コートに入る選手はマスクを外す。（線審はマスクを着用しなくても良い。ただし、所属チームから要請があった場合は着用しても良いが熱中症対策を怠らないこと）
- 試合前と試合終了後に主審・副審・記録員は手指の消毒を行う。
- 使用する備品（フラッグ、モップ、電子ホイッスル等）は試合前と試合後消毒を行う。
- 使用する笛については、チーム内で共有しないこと。
使用後はそのままの状態では放置せず水洗いまたは除菌シート等で洗浄・消毒を行い管理する事。また、電子ホイッスルの活用も可とする。
- プロトコルのコイントス参加者は、間隔をとり短時間で行う。
その際、審判員は、選手・監督との握手は行わない。（選手同士も握手は行わない）
- 記録員は2名とし、間隔を十分にとって着席し、主審から見て左側を記録員、右側を補助員とする。
- 監督・キャプテンは、記録用紙にサインをする際使用するボールペン（青色）は、自分で用意したものを使用する。（無い場合は、手袋の着用または消毒をする）
- 試合球は複数個用意し、こまめに交換しながら使用する。交換後のボールは、補助員によりタオル等で十分に乾拭きを行う。
- 試合開始前の挨拶は、主審、副審は通常どおり審判台側に整列する。
選手は、エントリーされた全員がエンドラインに距離をとって整列し、主審の吹笛後一礼する。
その際、選手同士の握手は行わない。その後、スターティングメンバー（6名）はコートに残り、控えの選手はベンチに戻る。
副審と記録員によるサーブ順の確認後試合開始となる。
- 試合中、ベンチには監督および控えの選手が着席し、その他のベンチスタッフは公式練習終了後に観覧席に移動する。また、ベンチの椅子は一席間隔分空けて設置し控えの選手は試合中着席し待機する。（椅子は7個設置。）
ウォームアップエリアについては、設置しなくても良い。
- 競技者交代時に控えの選手がアップするエリアは通常あるウォームアップエリアと同じ場所（ベンチサイド）で行う。
- テクニカルタイムアウト・タイムアウト・セット間においては、選手同士が密にならないよう間隔を空ける。監督が選手に話しかける場合は、1メートル程度間隔を空けるようにする。（テクニカルタイムアウト時の給水場所はエンドライン延長線上のベンチ付近で行う）
- 給水は、コート内にいる選手はもちろん控えの選手やラインジャッジ、点示の子供達も確実にを行うようにすること。
- 試合中、お互いの距離が接近するような円陣や手指が接触する行為（ハイタッチなど）は行わない。また、相手方コートに向かって大声での声出しは控えるようにする。
- 競技者交代時、コート内にいる選手は、入ってくる選手の周りに集まらない。
- 試合終了後の挨拶は、コート内の選手6名のみエンドラインに距離をとって整列し、主審の吹笛後、その場で一礼しベンチに戻る。その後速やかにベンチを空ける。